#### 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年		校長名	₹	640-8341	所在地		
大原簿記法律&美 門学校 和歌		平成21年3月	31日	太田 史巳充	(住所)	和歌山県和歌山市黒田 073-475-8010	388番地1		
設置者名		設立認可年	月日	代表者名		101-0065	所在地		
学校法人大原	学園	昭和54年4月	1日	中本 毎彦	(住所)	東京都千代田区西神田 03-6261-7717	31丁目1番3号		
分野	=	忍定課程名	認定	学科名		引士認定年度	高度専門士認定:	年度 職業実践項	専門課程認定年度
文化•教養	文化	・教養専門課程	法律征	<sub>了</sub> 政学科	平成	22(2010)年度	_	平成:	27(2015)年度
学科の目的	本学科は、 する。	教育基本法及び学校	教育法に基づき、シ	<b>法律及び行政並び</b> に	ここれらのビシ	ジネスに関する教育を施し	、人格の陶冶を行い、	もって有為な産業人を	育成することを目的。
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)						然科学といった一般知識系 の設置が図られている。	科目及び判断推理が	や数的推理、文章理解な	などの一般知能系科
修業年限	昼夜	全課程の修了に必 単	要な総授業時数又( 位数	は総講	義	演習	実習	実験	実技
2		※単位時間、単位いずれ	1,700 単位時	間 1,880	) 単位時間	3,080 単位時間	450 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
年		かに記入	- 単位		- 単位	- 単位	- 単位	- 単位	- 単位
生徒総定員	生徒実	至員(A) 留学生	三数 (生徒実員の内数)(	B) 留学生割	合(B/A)	中退率			
120 人	67	Д	0 人	(	) %	5 %			
	■卒業者			46	<u> </u>				
	■就職者	望者数 (D) : 数 (E) :		45 38	<del></del>				
	■地元就I ■就職率	職者数(F)		20 84	人 %				
		こ占める地元就職者の	D割合(F/E)						
	■卒業者(	こ 占める就職者の割合	(E/C)	53	%				
±1,54.	■進学者	数		83 1	<u>%</u> 人				
就職等の状況	■その他								
	公務員の	就職を目指し独学 <i>σ</i>	)学生7名						
	( A T-	。在唐玄紫	表に関する今和 <b>?</b>	年5月1日時点の作	# 赤口 \				
	(令和 ■ <b>主な就</b>	6 千及千米· 哉 <b>先、業界等</b>	日に関りるサルイ・	+3月1日时点♡[	FI FIX /				
	(令和6年度								
	国家公科	よる (官公庁職員・表	対所職員・海上の						
			品融品.整寂古.	、当性合かど)					
	地方公務 ■民間の	務員(県庁職員・市役 評価機関等から第3	E者評価:	消防官など)		無			
第三者による	地方公務 ■民間の	務員(県庁職員・市役	E者評価:	消防官など)					
第三者による 学校評価	地方公務 ■民間の ※有の場合	務員(県庁職員・市役 評価機関等から第3	E者評価:	:消防官など) 受審年月:		評価系	吉果を掲載した ムページURL		
学校評価 当該学科の	地方公務 ■民間の ※有の場合	務員(県庁職員・市役 評価機関等から第3 、例えば以下について付	E者評価:			評価系			
学校評価 当該学科の ホームページ	地方公務 ■民間の ※有の場合	務員(県庁職員・市役 評価機関等から第3 、例えば以下について付	三者評価: 壬意記載	受審年月:		評価系			
学校評価 当該学科の	地方公教 ■民間の ※有の場合 https://w	務員(県庁職員・市役 評価機関等から第3 、例えば以下について付 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser	三者評価: 壬意記載	受審年月:		評価系			
学校評価 当該学科の ホームページ	地方公教 ■民間の ※有の場合 https://w	務員(県庁職員・市役 評価機関等から第3 、例えば以下について( 評価団体:	三者評価: 壬意記載	受審年月:		評価系		1,700 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	地方公教 ■民間の ※有の場合 https://w	移員(県庁職員・市役 評価機関等から第三 、例えば以下について付 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数	E者評価: E意記載 mon/school/wak	受審年月:		評価系		1,700 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	地方公教 ■民間の ※有の場合 https://w	移員(県庁職員・市役 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業	E者評価: E意記載 mon/school/wak	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授髪		評価系			
学校評価 当該学科の ホームページ	地方公教 ■民間の ※有の場合 https://w	移員(県庁職員・市役 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業	E者評価: H意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授髪		評価系		0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	地方公教 ■民間の ※有の場合 https://w	務員(県庁職員・市役 評価機関等から第三、例えば以下について代 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	E者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習の 漫業時数 うち企業等と連携	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が授業時数	<b>薬時数</b> 実習・実技	評価条水ーユ		0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	地方公教 ■民間の ※有の場合 https://w	移員(県庁職員・市役 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	E者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が実際 が関係 を表現 が表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を	集時数 実習・実技 )授業時数	評価条水ーユ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	地方公名 ■民間の別 ※有の場合 。 https://w	移員(県庁職員・市役 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	E者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が授業時数	集時数 実習・実技 )授業時数	評価条水ーユ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へのです。	地方公科 ■民間の別 ※有の場合 『 https://w (A:単位	務員(県庁職員・市役 評価機関等から第三 、例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修	E者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が実際 が関係 を表現 が表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を表現 を	集時数 実習・実技 )授業時数	評価条水ーユ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企	E者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連 うち企業等と連	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が実際 が関係を を ある。 ・実習・実技の授動 を まる。 を まる。	集時数 実習・実技 )授業時数	評価条水ーユ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数	E者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 浸業時数 うち企業等と連 うち企業等と連 業等と連携したイ	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が実際 が関係を を ある。 ・実習・実技の授動 を まる。 を まる。	実習・実技 )授業時数 受業時数)	評価条水ーユ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	移員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業	E者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 浸業時数 うち企業等と連 うち企業等と連 業等と連携したイ	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が授業時数  集した必修の実験・ 集した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位	実習・実技 )授業時数 受業時数)	評価条水ーユ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	移員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 侵業時数 うち企業等と連 うち企業等と連 業等と連携したイ	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が授業時数  集した必修の実験・ 集した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位	実習・実技 )授業時数 受業時数)	評価条水ーユ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	移員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習の 浸業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 等と連携した大演習の 幸と連携した演習の	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が授業時数  集した必修の実験・ 集した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位	実習・実技 )授業時数 )授業時数)	評価なポープ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	移員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 浸業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 等と連携した大震習 を連携した大震習 を連携した大震習 でする企業等と連携 がする企業等と連携 した実験 をと連携した演習 を連携した演習 でする企業等と連携 した実験 をと連携した演習 でする企業等と連携 した演習 でする企業等と連携 した演習 でする企業等と連携 した演習 でする企業等と連携 した演習 でする企業等と連携 でする企業を でする企業等と連携 でする企業を でする企業を でする企業を でする企業を でする企業を でする企業を でするでする でするでする でする でする でする でする です	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が実際をある。  ・実習・実技の授動 が表した必修の実験・ ました必修の演習の ンターンシップの持 ・実習・実技の単位 が単位数	実習・実技 授業時数 受業時数) 立数 実習・実技	評価なポープ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携しした況へのようになる。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	移員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総理な数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 浸業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 等と連携した次習 単位数 うち企業等と連 立ち企業等と連 立ち企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が実際を 表した必修の実験・ 表した必修の演習の ンターンシップの打 ・実習・実技の単位 が単位数 集した必修の実験・	実習・実技 授業時数 受業時数) 立数 実習・実技	評価なポープ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施抗した況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	移員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総理な数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 浸業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイ 等と連携した次習 単位数 うち企業等と連 立ち企業等と連 立ち企業等と連 がある企業等と連 がある企業等と連	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 が実際・実験・ ました必修の実験・ ました必修の演習の ンターンシップの打 ・実習・実技の単位 が単位数 ました必修の実験・ ました必修の実験・ ました必修の実験・	実習・実技 授業時数 受業時数) 立数 実習・実技	評価なポープ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について( 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企き うち企き うち企き うち企き うち企き うち企き うち企き うち企き	E者評価: 王意記載  mon/school/wak  等と連携した実験 等と連携した演習  浸業時数  うち企業等と連  すうち企業等と連携したイ  等と連携した大変  等と連携した実験 等と連携した演習  単位数  うち企業等と連  うち企業等と連  すうち企業等と連  すうち企業等と連  すうち企業等と連	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授動 の授業時数  携した必修の実験・ 携した必修の演習の シターンシップの抗 ・実習・実技の単位 の単位数  携した必修の演習の また必修の実験・ また必修の実験・ またとをのである。	実習・実技 授業時数 受業時数) 立数 実習・実技	評価なポープ		0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合 (A:単位 (B:単位	務員(県庁職員・市名 評価機関等から第三 (例えば以下について付 評価団体: ************************************	王者評価: 王意記載: mon/school/wak 等と連携した実験 一般である企業等と連携したが、 一般である企業等と連携したである。 等と連携した実験 単位数 「うち企業等と連携した演習の 単位数 「うち企業等と連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実習・実技 )授業時数) 立数 実習・実技 以業時数)	の授業時数の単位数	AN-VUR L	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 一 単位 一 単位 一 単位 一 単位 一 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施抗した況へのです。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企を (うち企	王者評価: 王意記載: mon/school/wak 等と連携した実験 一般である企業等と連携したが、 一般である企業等と連携したである。 等と連携した実験 単位数 「うち企業等と連携した演習の 単位数 「うち企業等と連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集 を連携したである企業等と連集	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実習・実技 )授業時数) 立数 実習・実技 以業時数)	評価なポープ	AN-VUR L	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携しした況へのようになる。	地方公科 ■ 民間の別 ※有の場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務員(県庁職員・市名  評価機関等から第三  、例えば以下について  評価では、例えば以下について  評価団体:  ww.o-hara.ac.jp/ser  時間による算定)  総授業時数  うち企業  うち必修  数による算定)  総単位数  うち企業  うち必修  (うち企  数による算定)  の担当する第二  の担当ま年限と当をのの専門等  をの修上となる者	E者評価: 王意記載  mon/school/wak  等と連携した実験 等と連携した演習 受業等と連携した うち企業等と連携したイ  等と連携した大演習 うち企業等と連携したイ  等と連携した大演習  な企業等とは うちを企業等とは連携した大演習  ないまする  ないまする	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実習・実技 沙授業時数) 立数 実習・実技 単位数 (専修学	評価系 ホープ の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第	が (1号)	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携は状況 に記入)	地方公名 ■ 民間の別 ※ 有の場合 。 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について付 評価では、例えば以下について付 評価団体: ***  **  **  **  **  **  **  **  **	王者評価: 王意記載: mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 受業等と連携した うち企業等と連携したイ 等と連携した大実験 等と連携した大実験 等と連携した大実験 等と連携した大変 等と連携した大変 等と連携した大変 等と連携した大変 等と連携した大変 等と連携した大変 等と連携した大変 等と連携した大変 等と連携した大変 がある企業等と連 大変を を変素をと連 大変を なのような企業をと連 大変を を変素をと連 大変を なのような企業をと連 大変を を変素をと連 大変を なのような企業をと連 大変を を変素をと連 大変を を変素をと連 大変を を変素をと連 大変を を変素をときを なのような企業を とを を変素をときを なのような企業を とを を変素をときを なのような企業を を変素をときを なのような企業を を変素をときを まるなでを まるなであるなである。 まるなであるなである。 まるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなであるなであるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなであるなであるなであるなであるなである。 まるなであるなであるなであるなであるなであるなであるなであるなであるなであるなであ	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実習・実技 (事修学 (事修学	評価系 ホープ の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	が 11号) 11号)	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況からに記入)	地方公名 ■ 民間の別 ※ 有の場合 。 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	務員(県庁職員・市名 評価機関等から第三 (例えば以下について付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 での担当する教育等 年の以上となる者 年以上となる者 での姓となる者 でのなり でのな でのなり でのなり でのなり でのなり でのなり でのなり でのなり でのなり でのなり でのなり	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 授業等と連携した 大変等等と連携した 大変等等と連携したと演習 では、 では、 を連携したを実験である企業等ととは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実習・実技 >授業時数) 支数 実習・実技 数数 実質位数) (専修学 (専修学	評価系 ホープ の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	が 11号) 12号) 13号)	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 一 単位 一 単位 一 単位 0 上 単位 1 単位 1 単位 1 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した 実高、Bいずれかに記入)	地方公名 ■ 民間の別 ※ 有の場合 。 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について( 評価団体: WW.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 での担当集年をののでと、 での担当集年をる者 での担当集年をる者 での担当集年をる者 での担当集年をのでと、 でのは、 でのない。 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのない。 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 での	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 授業等と連携した 大変等等と連携した 大変等等と連携したと演習 では、 では、 を連携したを実験である企業等ととは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実 等 字	評価系 ホープ の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	514) 514) 514) 514) 514)	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 - 1 日	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施した況か に記入)	地方公名 ■ 民間の別 ※ 有の場合 。 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下(こついて付 評価では、例えば以下(こついて付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 での担当する教育等 をでの担当ま年限る者 (② 学士の学位を有 ③ 高等学校教論等 ④ 修士の学位又は ⑤ その他	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 授業等と連携した 大変等等と連携した 大変等等と連携したと演習 では、 では、 を連携したを実験である企業等ととは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実 等 字	評価系 ホープ の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	514) 514) 514) 514) 514)	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 一 単位 一 単位 一 単位 一 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施した況か に記入)	地方公名 ■ 民間の別 ※ 有の場合 。 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下について( 評価団体: WW.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 での担当集年をののでと、 での担当集年をる者 での担当集年をる者 での担当集年をる者 での担当集年をのでと、 でのは、 でのない。 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのない。 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 での	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 授業等と連携した 大変等等と連携した 大変等等と連携したと演習 では、 では、 を連携したを実験である企業等ととは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実 等 字	評価系 ホープ の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	514) 514) 514) 514) 514)	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 - 1 日	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状か に記入)	地方公科 ■ 民間の別 ※ 有の場合 :	務員(県庁職員・市代 評価機関等から第三、 例えば以下(こついて付 評価では、例えば以下(こついて付 評価団体: www.o-hara.ac.jp/ser 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 での担当する教育等 をでの担当ま年限る者 (② 学士の学位を有 ③ 高等学校教論等 ④ 修士の学位又は ⑤ その他	王者評価: 王意記載 mon/school/wak 等と連携した実験 等と連携した演習 授業等と連携した 大変等等と連携した 大変等等と連携したと演習 では、 では、 を連携したを実験である企業等ととは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授勢 が受業時数  美した必修の実験・ 美した必修の演習の ンターンシップの担 ・実習・実技の単位 が関位数  美した必修の演習の ンターンシップの自 ・で、にお専門課 ・で、	実 等 字	評価系 ホープ の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	514) 514) 514) 514) 514)	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 一 単位 一 単位 一 単位 一 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施した況か に記入)	地方公科 ■ 民間の別 ※ 有の場合 :	務員(県庁職員・市名 評価機関等から第三、 例えば以下(こついて付 評価団体:   一部では、	E者評価: 王意記載  mon/school/wak  等と連携した実験 等と連携した演習 奏楽等とを連携したた演習 業等とを連携したた演習 業等とを事性 うちと連携したた演習 業等とを事業 したた演習 業等とを事業 したた演習 業等とを事業 したな変	受審年月: ayama/ ・実習・実技の授髪 が授業等数  集した必修の実験 集した必修の演習の ンシップの担 ・実習・実技の単位 が単位数 集した必修の演習の という。 ままずのは、 ままずのは	実習・実技 シ授業時数) 支数 実単位数 (専修学 (専修学 (専修学	評価系 ホープ の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	51号) 51号) 52号) 53号) 54号)	0 単位時間 0 単位時間 15 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 一 単位 一 単位 一 単位 一 単位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先である民間企業と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得 した即戦力となる人材を育成する。
- ②商業実務分野における学修の中心となる会計知識、計数能力、マーケティング知識、情報パソコンスキルは勿論のこと、より高度な会計知識である、財務開示、財務分析などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- ④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員会も各分野ごとに 各校共通の組織を設置する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置付けについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置付ける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長・教務部長・教務課長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目・内容・手法)の編成に反映させることができる。
- (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所属	任期	種別
太田 光	和歌山県行政書士会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1)
辻 昭憲	A&T司法書士事務所	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
太田 史巳充	大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校 校長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
山田 剛隆	大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校 課長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
吉本 卓真	大原簿記法律&美宓魁萬寅門学校和歌山校 理長補佐	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	-
森陰 秀明	大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
大野 康彦	大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月1日 16:40~17:20

第2回 令和6年11月14日 16:40~17:20

第1回 令和7年8月7日 16:40~17:20

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①短期計画:多種多様な試験制度への対応
- ア. 過去の教育課程編成委員会で「意思疎通能力」に関してのご助言を多数賜ったが、現在においても主要な課題であると 認識している。「キャリアデザイン系」の講義内容につき見直しを行ったが、内容については今後も継続検討していく。
- イ、SPI試験・SCOA試験対策につき、開始時期や効果的な利用方法を引き続き検討していく。
  - ②中·長期計画:ICT教育の導入
- ア. ポータルサイトの公開(学生向け・家庭向け)
- イ. デジタルコンテンツの拡充
- ②令和6年度教育課程編成改善案に関する意見交換
- (ア)ICT関連技術の業界内での活用について
- →学外委員からの提案・助言

司法書士の業務においてもICTが一部利用されている。業界においては顧客との関係性がICTにより従来の対面形式からオンラインへと変化してきている。顧客にあわせて「Zoom」や「Teams」などの幅広いオンラインミーティングツールに慣れておく必要がある。

また農林水産省等の省庁や行政も積極的にICTを導入している傾向にある。

→学外委員からの提案・助言

法律を扱う職種としてすべてデジタルやICTへと変更するのではなく、紙媒体との併用が望ましい。過去の判例やデータベースの検索などについてはICT技術を活用している。

- (イ)民法の改正に伴う「憲法」や「行政法」といった法律への影響について
- →学外委員からの提案・助言

成人年齢が18歳に引き下げられたことから情報商材系のトラブルに関する法律相談が増えてきている。また上記以外の幅 広い法律に影響が波及しており、今後も新たに検討すべき事例が出てくることが想定される。公務員を指導する側として、学 生に対して民法をはじめ様々な法律を学習することで視野が広がることを伝えてほしい。公務員は様々な職種、専門性があ る職業でありすべて法律に則って業務を行う。採用試験として出題される各種法律科目の学習がその先の業務につながるこ とを理解させてほしい。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①商業実務分野における実習・演習は、教育社会福祉分野、工業分野等の分野と異なり、企業等との連携の下、学内で行われる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行う。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

職業実践演習(中級)及び職業実践演習(上級)の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点に ついて講義内容の質向上のために連携している。

- ① 実習授業内容構築へのサポート
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する教員への指導
- ④ 学生の学修習熟状況の評価

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

	付日剱については代衣的は:	3行口に 20・6 記載。	
科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	社会人になるにあたって納税は国民の三大義務の一つであり、また官公庁の運営において、「租税」は切り離せない問題である。その財政の仕組みを理解するうえで中心となる「租税」を学ぶことは必要不可欠である。公務員を目指すにあたり、租税の仕組みそのものを学び、経済の仕組みを理解することを目的とする。	大阪国税局 国税広報広聴室

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

# (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために以下のとおり教員研修の環境を整える。

「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意思により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において、学園が企画する研修は以下のとおり。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 教務力向上研修 政治·社会科学編 連携企業等: 藤木新生法律事務所

期間: 令和7年3月25日 対象: 法律行政学科教員

内容 最新の法律行政知識を学び、研修後教員から学生へフィードバックを行う

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 愛着障害の理解と支援!アセスメントを支援に活かす 連携企業等: 和歌山県教育カウンセラー協会

期間: 令和6年11月23日 対象: 和歌山校職員対象

内容 目の前にいるこどもの気になる行動をアセスメントし、個別の支援に活かす

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 教務力向上研修 政治・社会科学編 連携企業等: 藤木新生法律事務所

期間: 令和8年3月下旬ごろ 対象: 法律行政学科教員

内容 最新の法律行政知識を学び、研修後教員から学生へフィードバックを行う

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 未定 連携企業等: 和歌山県教育カウンセラー協会

期間: 令和7年11月頃 対象: 和歌山校職員対象

内容 未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行い、有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライ: ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。③カリキュラムは体系的に編成されているか。④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。

(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11) 国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)学校関係者評価結果の活用状況

学生の社会適応能力についての意見を頂戴し、単なる資格取得のみならず、実務を意識した教育を行い、座学と実学の両方を修得するための指導を取り入れる。また、全員参加の学校行事、クラブ活動やボランティア活動などの社会貢献活動を通じてコミュニケーションカの向上に向け改善を行っている。

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
梶田 翔太	青山商事株式会社	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
松本 崇範	ホテルアバローム紀の国	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
二宮 竜太	ホテルアバローム紀の国	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
小坂 千寿	株式会社 アスクビューティー	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
楠本 涼太	税理士法人くらしあす	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
杉本 篤史	杉本公認会計士事務所	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
辻 昭憲	A&T司法書士事務所	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
駒井 秀行	株式会社 サブール	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
阪本 成生	株式会社 仁インターナショナル	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

((ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

)) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

URL: 公表時期: <u>令和7年10月6日</u>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係

- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのため に、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①概要 ②教育方針 ③沿革
(2)各学科等の教育	①入学定員 ②受入方針 ③進級の認定 ④卒業の認定 ⑤称号の付与 ⑥目標とする試験 ⑦主たる試験の合格実績 ⑧卒業生の進路
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生の受入
(11)その他	_
※(10) 及び(11)については任音司報	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.o-hara.ac.ip/about/hvoka/ URI ·

公表時期: 令和7年10月6日

# 授業科目等の概要

		文化・教養専門課程 法律行政学科) 分類														
	$\vdash$	分類				配	授		授	業フ		場	所	教	員	٠
	必	選択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	当年次・	業時	単位		演	実験・実習	校	校	専		企業等との
	修	修	択			学期	数	数	義	習	· 実 技	内	外	任	任	連携
1	0			職業実務Ⅰ	官庁に関する研究を行う(講義)	1 通	15	1		0		0		0		
2	0			キャリアデザ イン I	公務員の全般的な仕事を理解し、公務に必 要なマナー・応対力・一般常識の基礎を学 ぶ	1 通	30	1		0		0		0		
3	0			一般教養Ⅰ	一般教養として、社会で求められる漢字の 知識を身につける	1 前	30	1		0		0		0		
4	0				社会科学分野の基礎知識を学び、官公庁に よる地方行政	1 前	30	1	0			0		0		
5	0			基礎社会科学 Ⅱ (経済・社 会)	社会科学分野の基礎知識を学び、官公庁に よる地方行政	1 前	40	1	0			0		0		
6	0			基礎数的 I 数的推理	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	1 前	50	2	0			0		0		
7	0				数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、文章問題を解答する	1 前	40	1	0			0		0		
8	0				数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、 問題を解答する	1 前	40	1	0			0		0		
9	0				生体から自然環境まで、幅広い生物分野を 学ぶ	1通	20	1	0			0		0		
10	0			基礎言語 I 文理・国語	文章読解と基礎的な国語を並行して進める	1 前	20	1	0			0		0		
11	0				模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・ 文章理解の知識を学ぶ	1 前	60	2		0		0		0		
12			0		模擬試験と解説を通じ、数的推理・判断推理・空間把握・文章理解・政治・経済・社会の知識を学ぶ	1 後	60	2		0		0		0		
13			0		気候、地形、世界各国の産業など地理の基 礎知識を学ぶ	1 後	30	1	0			0		0		

0	基礎人文科学 Ⅱ 日本史	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	1 後	30	1	0			0		0	
0	基礎人文科学 Ⅲ 世界史	中国・朝鮮半島の歴代王朝と第二次世界大 戦以降の世界史を学ぶ	1 後	30	1	0			0		0	
0	基礎自然科学 Ⅱ 地学	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学 分野を学ぶ	1 後	20	1	0			0		0	
0	基礎自然科学 Ⅲ 物理	基本的な公式を覚え、運動・熱・電気など の仕組みを知る	1 後	20	1	0			0		0	
0	基礎自然科学 Ⅳ 化学	物質の仕組みや物質の変化を知識として深 める	1 後	20	1	0			0		0	
0	基礎自然科学総合	物理・化学の基礎知識を習得する。	1 前	20	1	0			0		0	
0	基礎演習 I 数的処理	数的処理の基礎知識をアウトプットするこ とで定着を図る	1 通	40	2		0		0		0	
0	基礎演習Ⅱ 社会科学	政治・経済の基礎知識をアウトプットする ことで定着を図る	1 通	30	1		0		0		0	
0	基礎演習Ⅲ 人文科学	歴史・地理の基礎知識をアウトプットする ことで定着を図る	1 後	30	1		0		0		0	
0	基礎演習Ⅵ 自然科学	生物・地学の基礎知識をアウトプットする ことで知識の定着を図る	1 後	20	1		0		0		0	
		模擬試験を通じ、復習および実践的な知識 を学ぶ	1 通	60	2		0		0		0	
0	基礎答案練習	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識 を学ぶ	1 通	20	1		0		0		0	
0	憲法	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識 を学ぶ	1 通	40	2	0			0		0	
0	民法	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学 ぶ	1 通	70	3	0			0		0	
0	行政法	行政作用法、行政救済法および行政組織法 について行政法の基礎知識を学ぶ	1 通	40	2	0			0		0	
0	政治学	政治学の基礎知識を学ぶ	1通	20	1	0			0		0	
		□       □	□ 日本史	□ 日本史 へ和政権から昭和までの日本史を子か 後   □ 基礎人文科学	□ 日本史 へ和政権から昭和までの日本文を子か 後 30 1 ○	□ 日本史 へ和政権がら配和までの日本史を学ぶ 後 30 □ ○ □ 基礎人文科学 中国・朝鮮半島の歴代王朝と第二次世界大 1 後 20 □ ○ □ 基礎自然科学 地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学 1 後 20 □ ○ ○ □ 基礎自然科学 物質の仕組みや物質の変化を知識として深 1 後 20 □ ○ ○ □ 基礎自然科学 物質の仕組みや物質の変化を知識として深 1 後 20 □ ○ ○ □ 基礎自然科学 物質の仕組みや物質の変化を知識として深 1 6 ○ □ ○ □ ○ □ 基礎演習Ⅱ をで定着を図る □ 前 20 □ ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ 日本史	□ I 日本史				

 	_											
0	ミクロ経済学	ミクロ経済学の基礎知識を学ぶ	1通	40	2	0			0		0	
0	マクロ経済学	マクロ経済学の基礎知識を学ぶ	1 通	40	2	0			0		0	
0	社会学	社会学の基礎知識を学ぶ	1 通	20	1	0			0		0	
0	会計学	会計学の基礎知識を学ぶ	1 通	20	1	0			0		0	
0	社会事情	社会事情の基礎知識を学ぶ	1 通	20	1	0			0		0	
0	経済事情	経済事情の基礎知識を学ぶ	1 通	20	1	0			0		0	
0	国際関係	国際関係の基礎知識を学ぶ	1 通	20	1	0			0		0	
0	経営学	経営学の基礎知識を学ぶ	1 通	20	1	0			0		0	
0	行政学	行政学の基礎知識を学ぶ	1 通	20	1	0			0		0	
0	財政学	財政学の基礎知識を学ぶ	1 通	20	1	0			0		0	
0	一般教養Ⅱ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語な ど国語分野に関する知識まで身につける	1 後	30	1		0		0		0	
0	公務員就職試 験対策講義	多様化する公務員試験に対応するための一 般教養力の習得する	1 後	30	1		0		0		0	
0	専門科目総合 演習 I	科目別答練の実施や既習科目の総復習を通 じ、専門科目の知識の定着を図る	1 後	60	2		0		0		0	
0		情報処理に活用することを前提とした数学 知識の習得する	1 後	30	1	0			0		0	
0	公務員IT基礎 知識	デジタル枠での採用試験への対応を前提としたIT知識の習得	1 後	30	1	0			0		0	
0	公務員模擬受 験	模擬公務員試験を実施し実際の公務員試験 の流れを把握する	1 後	20	1	0			0		0	
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	○ 会計学 会計学の基礎知識を学ぶ     ○ 社会事情 社会事情の基礎知識を学ぶ     ○ 経済事情 経済事情の基礎知識を学ぶ     ○ 国際関係 国際関係の基礎知識を学ぶ     ○ 経営学 経営学の基礎知識を学ぶ     ○ 行政学 行政学の基礎知識を学ぶ     ○ 財政学 財政学の基礎知識を学ぶ     ○ 日報を学ぶ     ○ 日報を受診していませます。     ○ 日報を対象を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	□ マクロ経済学 マクロ経済学の基礎知識を学ぶ 1通 1通 ○ 社会学 社会学の基礎知識を学ぶ 1通 1通 ○ 社会事情 社会事情の基礎知識を学ぶ 1通 □ ○ 経済事情 経済事情の基礎知識を学ぶ 1通 □ ○ 経済事情 経済事情の基礎知識を学ぶ 1通 □ ○ 経営学 経営学の基礎知識を学ぶ 1通 □ ○ 経営学 経営学の基礎知識を学ぶ 1通 □ ○ 財政学 財政学の基礎知識を学ぶ 1通 □ ○ 財政学 財政学の基礎知識を学ぶ 1通 □ ○ 財政学 財政学の基礎知識を学ぶ 1 0 ○ 日本の学習を通じ、ことわざや故事成語な 1 0 ○ 公務員就職試 多様化する公務員試験に対応するための 1 後 ○ 公務員 基礎 情報処理に活用する ことを前提とした数学 1 後 ○ 公務員 工学 日報処の習得する 1 後 ○ 公務員 工学 日報処の習得する 1 後 ○ 公務員は基礎 デジタル枠での採用試験への対応を前提と 1 後 ○ 公務員は疑受 機擬公務員試験を実施し実際の公務員試験 1 1	□ マクロ経済学 マクロ経済学の基礎知識を学ぶ 1 0 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	□ マクロ経済学 マクロ経済学の基礎知識を学ぶ 1 通 40 2 2 1 20 1 20 1 20 1 20 1 20 1 20 1	回 マクロ経済学 マクロ経済学の基礎知識を学ぶ 1 通 40 2 ○ ○ 社会学 社会学の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 会計学 会計学の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 社会事情 社会事情の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 社会事情 社会事情の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 経済事情 経済事情の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 日際関係 国際関係の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 日際関係 国際関係の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ ○ 日際関係 国際関係の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ ○ 日歌学 行政学の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 日歌学 財政学の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 財政学 財政学の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 財政学 財政学の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ 財政学 財政学の基礎知識を学ぶ 1 通 20 1 ○ ○ ○ 財政学 財政学の基礎知識を学ぶ 1 0 0 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	□ マクロ経済学 マクロ経済学の基礎知識を学ぶ 1 0 2 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0	□ マクロ経済学 マクロ経済学の基礎知識を学ぶ 1	□ マクロ経済学 マクロ経済学の基礎知識を学ぶ 1 40 2 0 0 0 0 で 2 の 1 2 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	回りまり日軽済子 マクロ経済学の基礎知識を学ぶ 1	

					•				 			
46	0	Excel基 礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する	1	60	2	0	0	0		0	
47	0	キャリアデザ インⅡ	面接試験に向けての準備作業法を習得し、 春教養2試験種に向けた面接指導を行う	1 後	30	1	0	0	0	0		
48	0	キャリアデザ インⅢ	社会環境を理解し、課題をクリアする力を 身につける為の学習	1 後	30	1	0	0	0	0		
49	0	Power Point基 礎	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作 を理解する	1 通	30	1	0	Δ	0		0	
50	0	時事	現代社会における主要な時事の基本用語を 理解し、自分の考えや意見を持つための学 習	1 後	30	1	0		0	0		
51	0	ITリテラシ	ネットワーク、セキュリティの知識とコン ピュータの基本操作を学ぶ	1 後	90	3	0	0	0		0	
52	0	基礎数学 I	基本的な数学計算の能力を身につける	2 前	20	1	0		0	0		
53	0	基礎言語Ⅱ 英語	基礎的な英文法を学習する	2 前	30	1	0		0		0	
54	0	基礎人文科学 総合	西洋及び東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0		
55	0	応用演習 I 数的処理	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	2 前	20	1		0	0	0		
56	0	応用演習 Ⅱ 数的処理	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	2 前	20	1		0	0	0		
57		応用演習 知 識系科目総合 I		2 前	20	1		0	0	0		
58		応用演習 知 識系科目総合 Ⅱ	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を 学ぶ	2 前	20	1		0	0	0		
59		応用演習 数 的処理本試験 対策		2 前	20	1		0	0	0		
60		応用演習 知 識系科目本試 験対策	知識系科目全般について、更なる問題演習 による試験直前の応用力強化	2 前	20	1		0	0	0		
61	0	総合答案練習 I	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ(基礎的なレベル)	2 前	150	5		0	0	0		

62	0	総合答案練習 II	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識 を学ぶ(基礎的なレベル)	2 通	40	2		0	0	C	)	
63	0	直前答案練習 I	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ(国家公務員レベル)	2 前	180	6		0	0	C	)	
64	0	直前答案練習 II	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ(本試験レベル)	2 前	120	4		0	0	С	)	
65	0	直前答案練習皿	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ(地方公務員)	2 後	30	1		0	0	С	)	
66	0	上級数的処理	数的分野全般のより高度な解法の習得	2 通	40	2	0		0	С	)	
67	0	上級教養科目総合	教養科目全般のより高度な解法の習得	2 通	60	2	0		0	С	)	
68	0		模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科 目の知識を学ぶ	2 前	60	2		0	0	С	)	
69	0	上級答案練習 Ⅱ 専門科目	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科 目の知識を学ぶ	2 前	60	2		0	0	С	)	
70	0		模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科 目の知識を学ぶ	2 前	30	1		0	0	С	)	
71	0	上級答案練習 IV 教養科目	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科 目の知識を学ぶ	2 前	30	1		0	0	С	)	
72	0	上級答案練習 V 公安職対 策	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科 目の知識を学ぶ	2 前	30	1		0	0	С	)	
73	0		模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科 目及び専門科目の知識を学ぶ	2 前	180	6		0	0	С	)	
74	0	専門科目総合 演習 Ⅱ	科目別答練の実施や既習科目の総復習を通 じ、専門科目の知識の定着を図る	2 前	120	4		0	0	С	)	
75	0	公務員時事研 究	就職先に関連する社会的ニュースを考察す る	2 前	60	2		0	0	С	)	
76	0	公務員キャリ アデザイン 公務員春試験	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的 な面接の練習	2 前	30	1		0	0	С	)	
77	0	公務員キャリ アデザイン 公務員秋試験	公務員秋試験の二次試験を踏まえた実践的 な面接の練習	2 後	120	4		0	0	С	)	

78	0	公務員適性検 査演習 I	公務員試験で重視される事務適性試験の得 点力を強化する	2 前	60	2		0	0	0		
79	0	公務員適性検 査演習 Ⅱ	公務員試験で重視される事務適性試験の得 点力を強化する	2 前	30	1		0	0	0		
80	0	公務員教養論 作文対策	公務員教養論作文試験対策のレクチャーお よび実践練習を行う	2 前	30	1		0	0	0		
81	0	公務員専門論 作文対策	専門論文・論作文対策について学ぶ	2 前	30	1		0	0	0		
82	0	公務員就職試 験対策演習	多様化する公務員試験に対応するための一 般教養力の習得	2 前	30	1		0	0	0		
83	0	公官庁講話	公官庁職種への理解を深める	2 前	20	1	0		0	0		
84	0	公務員倫理	公務員に関する法令や服務規程を学ぶ	2 後	15	1		0	0	0		
85	0	FP基礎	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	2 前	120	4	0	Δ	0		0	
86	0	FP応用	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	2 前	60	2		0	0		0	
87	0	FP総合	「お金」に関する総合的な知識を深め、経 済社会との関係性を理解する	2 前	90	3		0	0		0	
88	0	一般教養Ⅱ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ	2 前	30	1		0	0	0		
89	0	ビジネス教養 Ⅱ	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う	2 通	30	1		0	0	0		
90	0	販売知識基礎	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、 マネジメントの知識を理解する	2 通	90	3		0	0		0	
91	0	販売知識応用	小売業について体系的に学び、実務的なビ ジネスの知識を理解する	2 後	90	3	0	Δ	0		0	
92	0	経営常識	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習 (国際・経済・労働・IT・AI)	2 後	30	1	0	Δ	0		0	
93	0	Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解 する	2 通	60	2	0	Δ	0		0	

	-											
C	パソコン実習	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	2 通	30	1	0	Δ		0			0
C	パソコン実習皿	Word:長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel:目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習	2 通	30	1		0		0			0
C	)経理実務	経理実務で必要となる業務内容を体系的に 学び、特に納税等で用いる帳票書類につい ての知識を習得するための講義	2 通	60	2	0	Δ		0			0
C	)給与計算実務	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解 し、特に年末調整事務を行うために必要な 知識を習得する講義	2 後	30	1	0	Δ		0			0
	)財務会計	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義	2 後	90	3	0	Δ		0			0
C	)販売仕入管理	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務 に関する知識を習得する講義	2 通	30	1	0			0			0
	言語知識(中 国語) I	中国人ネイティブ講師による講義	2 後	30	1	0			0			0
	言語知識(韓 国語) I	韓国人ネイティブ講師による講義	2 後	30	1	0			0			0
	マーケティン グ概論	マーケティングの必要性と目的を学習する	2 後	60	2	0	Δ		0			0
C	ITパスポート 基礎	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専 門知識を理解する	2 通	90	3	0			0			0
	ITパスポー ト・リテラシ 演習	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専 門知識を問題演習を通じて学ぶ	2 後	30	1		0		0			0
	ITパスポート 応用	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え 方を問題演習を通じて学ぶ	2 後	60	2	0	Δ		0			0
	英会話入門	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに 学習する	2 通	30	1	0	Δ		0			0
C	卒業前特別講 座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2 後	60	2	0			0			0
C	卒業研究・発表	実店舗を題材にして、課題に対する改善案 を提案し発表する	2 後	60	2		0		0			0
C	基礎演習 V )知能系科目総 合	問題演習を通じて数的推理・判断推理の総 復習を行う	1通	60	2	0			0		0	
		I       パ田       A       A       財       版       三国       三国       マグ       IT基       ITト演       ITト演       ITト演       ITト演       ITト演       ITト演       ITト演       A       共       本座       本表       基知         日	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	○	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□

110	0	トレーニング 実習	トレーニング関連の講義から得た知識を活 かした実習を行う	1 前	30	1			0	0			0	
111	0	職業実務Ⅱ	主官庁の研究を行う(レポート作成)	1 後	15	1	0			0		0		
112	0	職業実務Ⅲ	主官庁の研究を行う(グループワーク)	1 後	15	1	0			0		0		
113	0	職業実務Ⅳ	官庁に関する講義から得た知識を基に研究を行う	1 後	15	1	0			0		0		
114	0	職業実務V	主官庁の研究を行う(レポート作成)	1 後	15	1	0			0		0		
115	0	公共ボラン ティア実習 I	ボランティアの基本的な在り方を学び、実 習も踏まえて理解を深める	1 通	30	1			0		0	0		
116	0	パソコン実習 I	社会で求められる一般的なレベルのWORDと EXCEL等の操作方法を学ぶ	2 後	30	1			0		0	0		
117	0	ビジネスマ ナー	社会で求められる一般的なビジネスマナー と電話応対を学ぶ	2 後	60	2			0	0		0		
118	0	公共ボラン ティア実習 II	ボランティアの基本的な在り方を学び、実 習も踏まえて理解を深める	2 通	30	1			0	0		0		
119	0	法律研究	法律に関する講義を受け、研究および発表 を通じて考え方を学ぶ	2 後	30	1		0		0		0		
120	0	行政研究	災害対策に関する講義を受け、研究発表を 通じて防災への理解を深める	2 後	30	1			0	0		0		
121	0	公務員時事対 策	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンル の社会時事を学ぶ	2 前	120	1	0			0		0		
122	0	職業実践演習 I (中級)	企業内で必要とされる基本業務を身に付け る	2 通	120	2			0	0		0		
123	0	職業実践演習 I (上級)	企業内で必要とされる基本業務を身に付け る	2 後	120	2			0	0		0		
124	0	コミュニケー ション概論	自己分析、自己PRの作成を通じての対人コミュニケーションを学ぶ	2 前	30	1			0	0		0		
	合	計 <u></u>	124	. <b>1</b>	4目				193	単位	立 (	単位	時間	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件:	卒業の認定は、修業年限以上在学し、1700時間以上を履修し、かつ定められた授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、 校長が行う。	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法:	学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格になった者に対して実施する。また、学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP(Grade-Point)を与える。	1 学期の授業期間	22 週		

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。